

井尻公民館だより

(2024年9月1日発行)

〈令和6年 9月号〉

(第246号)

〈連絡先・問い合わせ先〉

館長 古屋 宗克 ()

主事 水上 由人 ()

名月や 用をはい出る 虫の声 正岡子規

中秋の名月は陰暦では8月15日。現行のカレンダーでは9月の中旬になることが多く、年によっては10月に入ることもあるようです。

絵手紙関口さんの葡萄の作品を拝見した時、季節は確実に秋に向かっていくんだと感じました。



絵手紙愛好会 関口和代

9月の歳時記♪・防災の日・十五夜・秋彼岸・敬老の日・秋分の日

納涼祭中止について

井尻公民館と共催で8月10日に開催予定だった第43回上井尻区・三日市場下区納涼祭は中止となりました。直前で新型コロナの感染が急拡大していること。異常な暑さによる熱中症のリスクが増大しているため、緊急の実行委員会を7月31日に開催、出席委員の半数以上が開催反対を支持したためです。楽しみにされている方に御心配をおかけし、2か月に及ぶ準備に時間をさいていただいた実行委員の皆様にも、ご苦勞をおかけしました。

実行委員長 鶴田圭吾

原爆と地域パネル展

甲州市役所にて8月5日～8月9日まで原爆と地域パネル展の展示がありました。井尻公民館からは展示パネルの提供をしています。中楯正明様（中楯木工）製作の展示用パネルがこの平和展に毎年活用されています。夏休み期間中ということもあり子どもたちが熱心に画像に見入っていて繋ぐ大切さを感じました。



今なお世界の何処かでは悲惨な戦争が起きています。
戦争を始めるのは人間、しかし戦争を終わらせるのも人間です。
怒りの連鎖を断つためにも知恵と勇気が必要です。

川柳 井尻公民館川柳愛好会

(甲州市塩山井尻公民館川柳愛好会)

腹の虫収らないのは裏の金

(久保 晃)

腹の虫宥めて福を掻き集め

(田辺たみ子)

虫のよいうまい話は裏がある

(古屋典子)

弱虫のふりして生きる強い人

(雨宮江身子)

何を食べ大きくなるのか腹の虫

(石垣まさ子)

猛暑でね昆虫達も雲隠れ

(関口正次)

この虫歯あの誘惑に負けた罰

(飯島武志)

短歌

あの日から七十九年経た今は

(久保 晃)

不穏の中に自然も交え

この世界オリンピックで一つにと

成らぬものかと心底思う

フランスの五輪大会メダリストは

(古屋 和子)

地獄の様と練習語る

パリ五輪体操・バレエの選手達

抜きつ抜かれつメダルを競う

俳句 井尻公民館俳句愛好会

訥々と語る戦禍や敬老日

(飯島 武志)

日のなごりいよよ華やぐ酔芙蓉

(飯島 和子)

土捏ねる心の窓に酔芙蓉

(増田 英仁)

敬老の一日を老に浸りけり

(小林 昂平)

弱々し真似少しせむ敬老日

(鶴田 光子)

沢音に芙蓉の彩の一日開く

(三柵 淳)

